



895号
2020年11月10日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

かんぽ生命が実施する募集人資格に係る処分

特定事案調査 (10月21日時点)

Table with 3 columns: 違反区分, 実質的業務停止期間・資格処分, 該当者. Rows include 法令違反 and 社内規定違反.

多数契約調査 (10月21日時点)

Table with 3 columns: 違反区分, 実質的業務停止期間・資格処分, 該当者. Rows include 法令違反.

【保険業法の基づく処分の内訳で、既に退職した社員も人数に含まれる】

※会社が行う懲戒処分は別にある

日本郵便が実施する人事処分

募集人の処分状況 (10月28日時点)

Table with 4 columns: 対象者, 処分量定, 今回実施分, 累計実施分. Rows include 募集人 and 合計.

募集人の当時の管理者の処分状況 (10月28日時点)

Table with 4 columns: 対象者, 処分量定, 今回実施分, 累計実施分. Rows include 管理者 and 合計.

誠実な対応を求める

顧客調査ほぼ完了

かんぽ不適正営業調査の、特定事案調査・全ご契約調査は概ね完了し、多数契約調査については、措置を希望される2,758名に対して、丁寧な対応を継続している。

また、管理者や社員の処分も順次進んでおり、社員分も順次進んでおり、社員

の調査は11月中旬に終わる予定である。募集人は戒告以上の処分が多く、当時の管理者は戒告以下の処分が多い。

渉外営業担当者

外回りと言われる渉外担当者が減少している。15年程前は30名以上いた呉局の保険渉外担当者は、現在10名以下となっている。

営業職では、パワーハラ研修と言われるほどの研修が行われていた為、社員の中には異動を希望していた人もいた。

問題発覚後は、そういった研修は無くなったが、責任は社員が取らされる事が今回の問題で明白となった。異動した社員に話を聞くと「保険営業はもうやりたくない」と答える人が多く、自分の責任を認めつつも、会社対応に納得できない思いも滲ませていた。

赤字事業の売却検討

11月5日、郵便株式会社の子会社であるツール社は、赤字が継続しているエクस्पレス事業について売却を検討する旨を決定したと公表した。

売却プロセスとして、アドバイザーにJPMorgan証券と野村證券を選定したが、売却が実施される確証はない。また同社が運営するフォワードینگ事業及びロジステイクス事業は売却の対象ではない。8月7日の決算発表で、エクस्पレス事業は101百万豪ドルの大幅赤字で、赤字から抜け出せていない。同期の決算では、フォワードینگ事業は5百万豪ドルの赤字、ロジステイクス事業は19百万豪ドルの黒字だった。

今後の予定

- 11月10日(火) 17:00~ 第2回呉支部執行委員会 支部事務所
● 11月16日(木) 15:00~ 集団訴訟進行協議 広島地方裁判所
次号は11月24日 予定